

ミチノクフクログモとカタオカハエトリについて

片岡 佐太郎

盛岡市西下台町11-45

Synopsis

KATAOKA, S. (11-45, Nishishita-daiCho, Morioka City, Iwate Prefecture): *Clubiona diversa* O. P. CAMBRIDGE and *Euophrys frontalis* (WALCKENAER) (Araneae) found in Japan. *Acta arachnol.*, **27** (Special number): 311-313 (1977).

The two European spiders, *Clubiona diversa* and *Euophrys frontalis*, were recently found in Japan. The description of them based on the Japanese material is given in the present paper.

ATYPUS, No. 57, Nov. 1971 の分布資料〔Ⅱ〕に、八木沼会長が日本新記録として、上記二種を掲載されてから5年過ぎた。二種の新称は会長が名づけられたもので、会長の還暦記念を祝して記録としてとどめ、同時に会員諸氏のご参考にもと、今回、和文記載をすることにした。

1. *Clubiona diversa* O. P. CAMBRIDGE

ミチノクフクログモ Figs. 1-6.

体長： ♀：4 mm 内外 ♂：3~3.5 mm

頭胸部： 淡黄色で頭部は胸部と同色のものと稍暗黒色を示すものとあり、中窩は縦で浅く橙色を示すものと全く見られないものとある。♂♀とも同様。

眼域： ♂♀とも前眼列わずかに後曲し、後眼列の側眼と6眼にみられる。間隔は殆んど同距離で後眼列は前眼列より長い。後眼列は前曲し後中眼間は最も広く後中眼直径の2倍ほどである。中眼域は梯形をなし前辺<後辺をなす。

口： 大顎黄褐色で牙は橙色、牙提歯は♀では前牙提歯2、後牙提歯は非常に細かく5~6歯を有する。♂には牙提歯は見られない。小顎は幅<長さで前方に開き、長さの中頃より下でくびれる。内側に毛が多い。大顎同様黄褐色、下唇は幅<長さで小顎の長さの1/2程度。色は黄褐色。

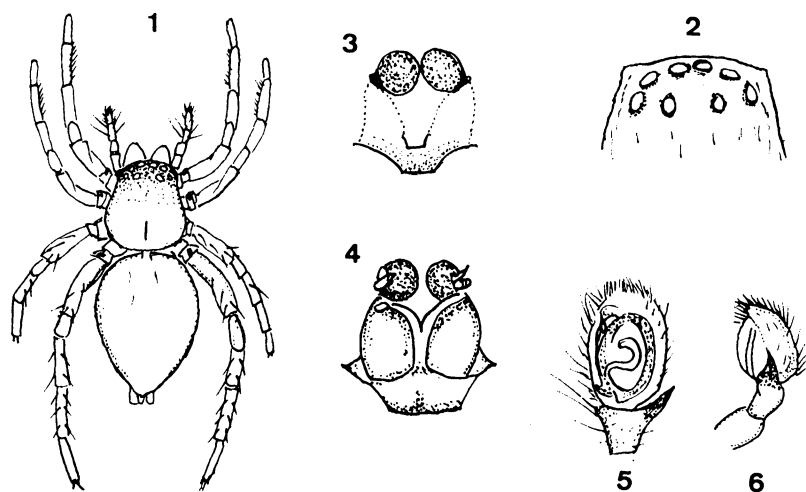
胸板： 卵型黄色で平らである。わずかに短毛疎にある。♂♀とも同様である。

腹背： 黄色または汚濁黄褐色で周辺部に明るい。上部にはまばらに粗毛がある。♂♀同様。

下腹： 背面とほぼ同色で紋様はない。背面と比べればやや淡色である。♂♀同様。

脚： 脚長順は4, 1, 2, 3。淡黄色を呈し各腿節背面に1, 1, 3の剛毛があり、第1脚、第2脚の脛節に2:2の剛棘毛あり、距節、跗節に毛櫛がならぶ。第1、第2脚はほとんど同長である。飛び跳ねることの多い蜘蛛で採集の際特に気づくことが多い。

性器： ♂ 触肢は Figs. 5-6 のとおり、脛節の突起はやゝ幅広い。♀ 外雌器も図示せるものと同じ (Fig. 3)。



Figs. 1-6. *Clubiona diversa* O. P. CAMBRIDGE ミチノクフクログモ

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 雌全形図 | 2. 眼域(♀) | 3. 外雌器 |
| 4. 雌内部生殖器 | 5. 雄触肢 | 6. 雄触肢側面図 |

環境： いわゆる山麓帯のクマ笹の落葉の中で採集している。クマ笹は俗称でチシマザサ、別名ネマガリタケの中で、この落葉をかきまわして5～6月頃に採集できた。採集地は宮城県鶯沢町で此の地以外からの採集は未報告ということである。最初採集したのが昭和43年6月22日でそれ以後毎年採集している。

2. *Euophrys frontalis* (WALCKENAER)

カタオカハエトリ Figs. 7-11.

体長： ♀：5 mm 内外 ♂：3.3 mm 内外

頭胸部： ♀は黄褐色で頭部は黒く両側殆んど平行する。♂は橙黄色で美しく、頭部黒色で眼域と同じ。中窩は明らかでない。全体に軟かい短毛で覆う。

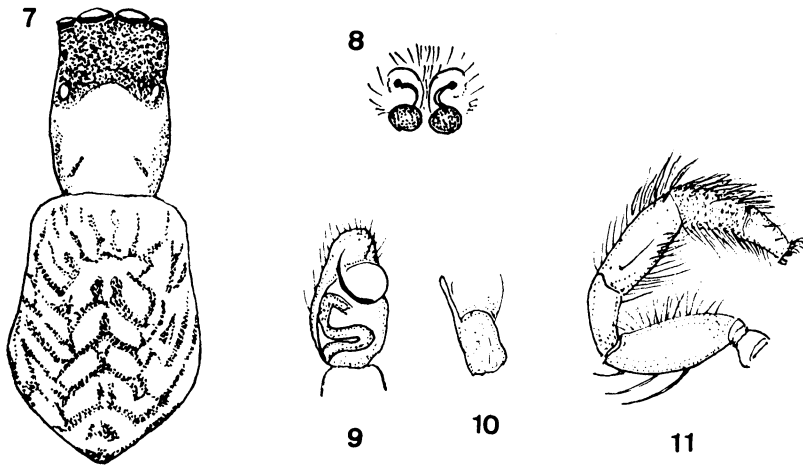
眼域： 前部は頭部幅のほとんど、長さは頭胸部長の3分の1を占め、第1眼列は中眼最大で側眼の約2倍。第3眼列は第1眼列の $\frac{1}{2}$ の長さの位置にあり第1眼列と同じ幅で矩形をなし、第1眼列の側眼と略同大。第2眼列は最小で第1、第3眼列の中間にある。

口： 大顎茶褐色。前牙提歯2。後牙提歯1。下顎は長さ>幅で褐色。先端部はやゝ明るい。下唇三角形。幅≒長さで下顎の $\frac{1}{2}$ に達せず♀とも同様である。

胸板： 葉身状で♀は頭胸部と同様の黄褐色、♂は粗毛があり頭胸部と同じ橙黄色を示し中央部は稍高くつき出る。

腹背： ♂橙黄色を呈し、中央部に山型状斑が黒く4～5あり、側腹にかけて縞状黒色斑がみられる。♀では紋様は♂とほとんど変化はみられないが全体茶色である。

下腹： ♂では下腹全体幅広く橙黄色で糸疣直前に達し、両側平行でほとんど短ざく形である。♀も同様で黄褐色を呈すがその中に糸疣付近から前方に向う黒褐色の三条を見ることがある。♂よりじみな

Figs. 7-11. *Euophrys frontalis* (WALCKENAER) カタオカハエトリ

7. 雌全形図

8. 外雌器

9. 雄触肢

10. 雄触肢脛節背面図

11. 雄第1脚

色である。

脚： 橙黄色で第1脚は最も太く最強で脛節下面に橙褐色毛が多く、脛節の前方は黒色の羽状毛の混在が多く後方膝節に接して橙黄色毛が多い。蹠節はほとんど黒色の羽状毛で覆われる。第2脚脛節には1:1:2。蹠節には2:2の刺があり、各脛節上面には3本ずつの剛刺が認められる。脚長順は4, 1, 3, 2の順である。♀では特に目立つ脚もなく普通、第1脚脛節に2:2:2、蹠節に2:2、第2脚脛、蹠節には♂と同様の剛棘をもつ。

性器： ♂ 触肢 Fig. 9 のように鋭く曲った剛刺がある。脛節には毛状の細い突起が前方に突き出ているが、注意しないと白い毛と同じに見える程に細い。♀ 雌器は Fig. 8 と同様である。

環境：今まで採集したところは笹藪とか灌木の下部、落葉の中に多い。成熟は5~7月頃で、採集された場所は千葉県九十九里浜、福島県磐梯山五色沼（以上は八木沼会長からの聞きとり）、岩手県盛岡市大志田、宮城県鶯沢町の4ヶ所であるがなお広く分布していると考えられる。

文 献

LOCKET, G. H. & A. F. MILLIDGE, 1968. British Spiders. Ray Soc., London. I: Pp. 310.